

研究構想図

学校教育目標 《昭和中学校区小中一貫教育目標》

自ら伸びる みんなで伸びる

めざす児童生徒像

- ・ 学習や体験したことを生かして学ぶ子
- ・ 自ら考え、判断し、自分の言葉で表現する子
- ・ 自他を大切にし、自らかかわり合う子

育成すべき資質・能力（小中共通）

知識・技能

思考力・判断力・表現力

主体性・協働する力

研究主題

自他を大切にし 主体的に学ぶ児童生徒の育成
～「あたたかい集団づくり」を基盤とした「考える授業づくり」を通して～

研究仮説

「あたたかい集団づくり」を基盤とした「考える授業づくり」をしていけば、
自他を大切にし、主体的に学ぶ児童生徒を育成することができるであろう。

【考える授業づくり（昭和学びのスタイルを通した全員参加型の授業）】

- 一人一人が気付き、問いをもたせる導入の工夫
- 児童生徒同士のかかわりを促すための、問いの工夫と「多様な視点」の活用
- ICT等を活用し、個々の課題に合わせた指導の工夫
- 知識の定着や広がり、深まりを意識した振り返り指導の工夫

個別最適な
学び

導入の
工夫

対話的・協働
的な学び

キュビナの
活用

振り返り

特別支援教育の考え方を生かした授業づくり

【あたたかい集団づくり（あたたかな聴き方・やさしい話し方の徹底）】

- 「やりきる三則」の徹底
- 「ほめる場・認め合う場・つなげる場」の設定
- 肯定的に他者とかわることで、認め合い、高め合う雰囲気の醸成
- 相手を意識した聴き方と話し方の指導
- 「異学年交流・小中合同での活動」の場の設定
- 地域社会に貢献しようとする態度の育成

いじめ撲滅
キャンペーン

基本的な生活
習慣の確立

小6中1
交流

異学年交流
(クラブ、縦割り班活動、部活動等)